

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 23 年 11 月 7 日 (月) ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体 量	容 器	保 存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
MO17 3 (8C505)	曜日指定 WT1 mRNA 定量	血液 7.0 (EDTA- 2Na)	A	冷蔵	4~6	2000 ※2	RT-PCR (リアルタイム PCR)	(コピー/μgRNA)	受託可能日は月~金 曜日です。検体採取 後、速やかにご提出 ください。他項目と の重複依頼は避けて ください。 本検査方法ではコン タミネーションの影 響がより大きくなり ますので、検体採取 にあたっては取り扱 いに十分ご注意ください。 &コ
		骨髓液 1.0	H	冷蔵					

検体は採血後、当日中にご提出ください。

● WT1 mRNA 定量

AML および MDS の診断補助や経過観察に有用です。

WT1 遺伝子 (Wilms tumor gene-1: WT1) は、当初、小児のウィルムス腫瘍の原因遺伝子として発見され、その後、白血病や固形腫瘍など様々な癌種で発現が認められています。

正常な末梢血や骨髄ではほとんど認められませんが、白血病では高率に、そして顕著に高い発現量を示し、病期の進行や治療効果を反映するため、診断補助や経過観察に有用性が示されてきています。

特に、急性骨髄性白血病 (AML) の治療後の寛解期において、再発の兆候である微小残存病変 (MRD) を感度よく検出する RT-PCR 法による本検査は、再発の早期診断の末梢血のモニタリングに重要な役割を果たしています。

また、AML への移行のリスクが高い骨髄異形成症候群 (MDS) においても、末梢血および骨髄液中での測定が診断補助または進行度のモニタリングに有用であることが示され、本年 8 月より保険適用が拡大されました。

▼疾患との関連

- AML (急性骨髄性白血病)
- MDS (骨髄異形成症候群)

▼検査要項

検査項目名	WT1 mRNA 定量	
項目コード No.	MO173	
検体量	血液 7.0 mL	骨髄液 1.0 mL
容器	A (EDTA-2Na 入り)	H (保存液入り)
保存方法	冷蔵保存してください。	冷蔵保存してください。
所要日数	4~6日	
検査方法	RT-PCR (リアルタイム PCR)	
基準値 (単位)	(コピー/μg RNA)	
実施料	2000点 (「D006-7」WT1 mRNA 核酸増幅検査)	
判断料	125点 (血液学的検査)	
備考	<p>曜日指定</p> <p>受託可能日は月~金曜日です。検体採取後、速やかにご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。</p> <p>本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &G</p>	

検体は採血後、当日中にご提出ください。

▼ 保険算定上の条件

WT1 mRNA 核酸増幅検査は、リアルタイム RT-PCR 法により、急性骨髄性白血病又は骨髄異形成症候群の診断の補助又は経過観察時に行った場合に 1 月に 1 回を限度として算定できる。

(2011 年 8 月より「骨髄異形成症候群 (MDS)」にも保険適用が拡大されました。)

● 参考文献

宮脇 修一, 他: 臨床血液 46 (12): 1279~1287, 2005. (検査方法参考文献)

Inoue K, et al: BLOOD (88): 2267~2278, 1996.